

伊豆大島から新たに記録されるゾウムシ上科甲虫

小島弘昭・藤澤佑典

〒243-0034 厚木市船子1737 東京農業大学昆虫学研究室

Weevils new to the fauna of Izu-Ôshima Island, the Izu Islands, Japan

Hiroaki KOJIMA and Yûsuke FUJISAWA

Summary Following 12 species of weevils (Coleoptera: Curculionoidea) are newly recorded from Izu-Ôshima Is.: (1) *Eugnamptus aurifrons* Roelofs, 1874, (2) *Auletobius fumigatus* (Roelofs, 1874), (3) *Holotrichapion semisericeum* (Wagner, 1920), (4) *Curculio hachijoensis* Morimoto, 1962, (5) *Anthonomus rectirostris* (Linnaeus, 1758), (6) *Orchestes horii* (Kôno, 1937), (7) *Moreobaris rubricata* (Hustache, 1921), (8) *Himatium ichihashii* (Konishi, 1962), (9) *Phloeophagosoma curvirostre* Wollaston, 1873, (10) *Oedophrys sakaguchii* (Kôno, 1930), (11) *Phaeopholus ornatus* Roelofs, 1873 and (12) *Ornatelcidus trifidus* (Pascoe, 1870). Among them, the first, second, third, fifth and seventh species are newly recorded from the Izu Islands. As a result, a total of 62 species of weevils excluding Scolytidae and Platypodidae are recognized from the Izu-Ôshima Is. This is the highest number of species among the Izu Islands exceeding the previously highest Hachijô-jima Is. excluding Anthribidae, which is unknown from Izu-Ôshima Is.

伊豆諸島のゾウムシ類は、1975～1980年にかけて宮川澄昭・大熊 純両氏による集中的な調査が行われ、そのコレクションを中心にMorimoto & Miyakawa (1985)によってヒゲナガゾウムシ科、キクイムシ科、ナガキクイムシ科を除くゾウムシ上科5科115種が報告された。この中で、伊豆大島からは4科50種が記録されている。その後30年以上が経過するが、この間、伊豆大島から新たに記録されたゾウムシは我々が知る限り皆無である。同報告の調査は4～7月に集中的に行われており、今回これまでの調査時期とは異なる9月上旬(2011年9月9～12日)に同島を訪問する機会を得て、伊豆諸島から新記録となる種を含む、伊豆大島新記録種を採集することができたので、以下に報告する。

今回の調査により伊豆大島から12種のゾウムシ上科甲虫が追加され、同島からの種数は62種となった。この数は伊豆大島から記録のないヒゲナガゾウムシ科を除き、これまで最も種数の多かった八丈島の57種(Morimoto & Miyakawa, 1985; Morimoto *et al.*, 2006; 野津, 2010)を超え、伊豆諸島中最大の種数となる。これは、本土からの距離や島の面積を考えれば妥当な数と言え、今後も綿密な調査により更なる種数の増加が見込まれるものと考えている。

報告に先立ち、原稿を校閲頂いた森本 桂博士に厚く御礼申し上げる。また、貴重な標本を提供頂いた東京農大の磯輪亮太、若山晃輔、大野慶紀の各氏に厚く御礼申し上げます。

なお、採集記録は全て伊豆大島で本文中では省略す

る。また、標本は全て東京農業大学にて保管している。

チョッキリゾウムシ科 Rhynchitidae

1. ホソチョッキリ *Eugnamptus aurifrons* Roelofs, 1874
1 ex. (未成熟個体)、海のふるさと村キャンプ場、9-IX-2011、若山晃輔採集。伊豆諸島新記録。
本州から沖縄まで広く分布するが、産地は局所的。

2. ヌルデケシツブチョッキリ *Auletobius fumigatus* (Roelofs, 1874)
2 exs., 海のふるさと村キャンプ場、10-IX-2011、磯輪亮太採集。伊豆諸島新記録。

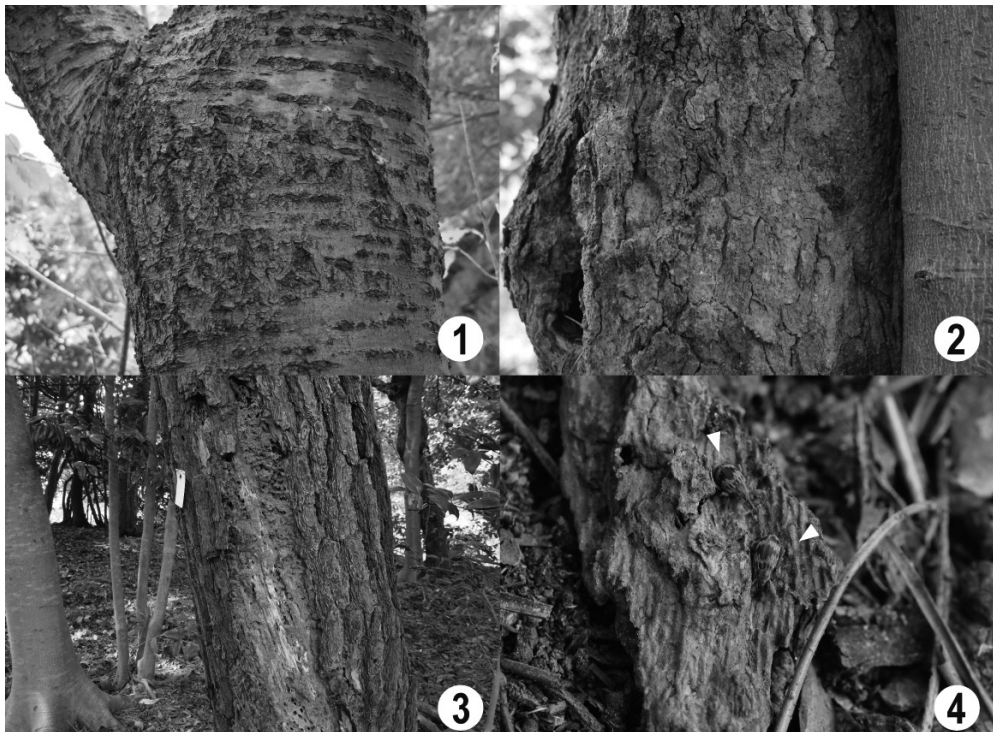
ホソクチゾウムシ科 Apionidae

3. コゲチャホソクチゾウムシ *Holotrichapion semisericeum* (Wagner, 1920)
1 ex., 三原山登山道路、9-IX-2011、藤澤佑典採集。伊豆諸島新記録。

ゾウムシ科 Curculionidae

4. ハチジョウシギゾウムシ *Curculio hachijoensis* Morimoto, 1962
2 exs., 海のふるさと村キャンプ場、11-IX-2011、大野慶紀採集。

交尾中の個体を採集したとのことで、通常7月に採集されている本種としては、遅い採集記録となる。伊豆諸島では、これまで伊豆大島、青ヶ島を除く各島から記録がある。



Figs. 1–3, Barks where adults of *Anthonomus rectirostris* were found (1, *Prunus speciosa*; 2, *Alnus sieboldiana*; 3, *Pinus densiflora*). 4, Adults (white triangular marks) found under the bark of *Alnus sieboldiana*.

5. オビモンハナゾウムシ *Anthonomus rectirostris* (Linnaeus, 1758)

5 exs., 海のふるさと村キャンプ場, 11-IX-2011, 藤澤侑典採集; 76 exs., 12-IX-2011, 小島弘昭採集; 12 exs., 藤澤侑典採集. 伊豆諸島新記録.

夏眠, 越冬準備中と思われる個体をオオシマザクラ, オオバヤシャブシ, アカマツの樹皮下から多数採集 (Figs. 1–4). なかでもオオバヤシャブシは樹皮が剥がれやすい構造になっており, その樹皮下に潜り込んでいる個体が圧倒的に多かった.

成虫はサクラの実を加害するとともに花からも得られるが, これまでサクラ開花期の調査が行われていなかったため記録がなかったものと思われる.

6. エノキノミゾウムシ *Orchestes horii* (Kôno, 1937)

1 ex., 千波崎, 10-IX-2011, 小島弘昭採集.

エノキより得た. 伊豆諸島ではこれまで三宅島, 御蔵島から記録がある.

7. タテスジヒメゾウムシ *Moreobaris rubricata* (Hustache, 1921)

1 ex., 砂の浜, 10-IX-2011, 小島弘昭採集. 伊豆諸島新記録.

マサキより得た.

8. クチミゾケブカクイゾウムシ *Himatium ichihashii* (Konishi, 1962)

1 ex., 三原山登山道路, 9-IX-2011, 小島弘昭採集; 1 ex., 大宮神社, 11-IX-2011, 小島弘昭採集.

三重大学演習林 (平倉) と屋久島産の標本をもとに記載された比較的珍しい種で, 伊豆諸島ではこれまで三宅島, 御蔵島, 青ヶ島から記録がある.

9. ワシバナヒメクイゾウムシ *Phloeophagosoma curvirostre* Wollaston, 1873

3 exs., 三原山登山道路, 9-IX-2011, 小島弘昭採集; 1 ex., 藤澤侑典採集; 1 ex., 差木地~泉津, 11-IX-2011, 小島弘昭採集.

伊豆諸島ではこれまで三宅島, 八丈島, 青ヶ島から記録がある.

10. サカゲチクチプトゾウムシ *Oedophrys sakaguchii* (Kôno, 1930)

3 exs., 三原山山腹登山口, 9-IX-2011, 小島弘昭採集; 1 ex., 海のふるさと村キャンプ場, 10-IX-2011, 藤澤侑典採集; 12 exs., 奥山砂漠, 11-IX-2011, 小島弘昭採集.

鹿児島から沖縄本島にかけて分布し, 1985年の時点では, 伊豆諸島から記録がなかったが

(Morimoto & Miyakawa, 1985), 1993年に八丈島三根のホテル周辺で発見され、島内で分布を拡大している (Morimoto *et al.*, 2006). 伊豆大島でも、個体数はそれほど多くはないが、島内各所で見つかり、分布を拡大している可能性が高い。ヒサカキ、ヤシヤブシ、オオシマザクラから得られた。

11. ミスジマルゾウムシ *Phaeopholus ornatus* Roelofs, 1873

1 ex., 千波崎, 10-IX-2011, 小島弘昭採集。

伊豆諸島ではこれまで式根島, 神津島, 三宅島, 八丈島から記録がある。

12. オジロアシナガゾウムシ *Ornatacidides trifidus* (Pascoe, 1870)

1 ex., 秋の浜, 11-IX-2011, 磯輪亮太採集。

本土では普通に見られるが、伊豆諸島ではこれまで式根島から1頭の記録があるのみ。

引用文献

Morimoto, K. & S. Miyakawa, 1985. Weevil fauna of Izu Islands, Japan (Coleoptera). *Mushi*, Fukuoka, 50 (3): 19-85.

Morimoto, K., H. Kojima & S. Miyakawa, 2006. Curculionioidea: General Introduction and Curculionidae: Entiminae (Part 1). *Phyllobiini, Polydrusini and Cyphicerini* (Coleoptera). *The Insects of Japan*, Vol. 3, 406 pp., Touka Shobo, Fukuoka. (In English and Japanese.)

野津 裕, 2010. 東京都八丈島のシギゾウムシ. *神奈川虫報*, (172): 13-14.

(2011年10月18日受領, 2011年11月17日受理)

【短報】FITにより採集された北海道未記録のチビシデムシ2種

筆者は、北海道江別市の野幌森林公園でFIT（フライト・インターセプト・トラップ）により採集されたチビシデムシ（タマキノコムシ科）の標本を検査する機会を得たが、北海道未記録と思われる以下の2種を見出したので報告する。

文末ながら、興味深い標本を検査する機会を与えて下さった堀 繁久氏（北海道開拓記念館）、また本稿を草するに当たりご意見を賜った西川正明氏（神奈川県海老名市）に厚く御礼申し上げます。

イシハラヒメチビシデムシ *Nemadus (Nemadus) ishiharai* Miyama, 1985

1♂, 北海道江別市野幌森林公園, 18. IV. 2001; 2♂♂, 1♀, 同, 17. IV. 2002; 1♀, 同, 1. V. 2002, 堀 繁久採集。

本種は、四国の面河溪を基準産地として記載され、現在までに九州 (Nishikawa, 1995), 四国, そして本州の北関東 (大川, 2003) まで分布することが知られていた。檢視標本は、触角第7節が光沢のある際立った黒色で、雄交尾器両側片は鞘状で、背面から見てほぼ中央で強く屈曲 (Miyama, 1985, fig. 19) するので本種と同定した。

シバタチビシデムシ *Catops shibatai* Y. Hayashi, 1987

1♀, 北海道江別市野幌森林公園, 10. VII. 2002; 1♂, 2♀♀, 同, 16. X. 2002, 堀 繁久採集。

本種は、兵庫県雨石山を基準産地として記載され、現在まで四国 (春沢・山本, 2000) と本州の北陸 (保科ほか, 2003) や関東 (西川, 1997) 地方まで分布することが知られていた。檢視標本の、

雄交尾器中央片の、特に先端の顆粒状突起の形状 (Hayashi, 1987, figs. 1e-f) と、雌については雄個体との形態的類似性に基づいて本種と同定した。

引用文献

春沢圭太郎・山本栄治, 2000. 小田深山とその周辺のチビシデムシ. 小田深山の自然編集委員会 (編), 小田深山の自然, II, pp. 241-247. 小田町, 小田.

Hayashi, Y., 1987. The two new *Catops*-species from Tanba, Japan (Coleoptera: Catopidae). *The entomological Review of Japan*, 42: 81-85.

保科英人・佐々治寛之・高橋直樹・牛嶋啓明, 2003. 2002年石川県白山系で採集された甲虫類, 付オオキノコムシ科昆虫の1新種の記載. 日本海地域の自然と環境: 福井大学地域環境研究教育センター研究紀要, (10): 15-39.

Miyama, H., 1985. Notes on catopid beetles of Japan, I. *Transactions of the Shikoku entomological Society*, 17: 15-20.

Nishikawa, M., 1995. Cholevid beetles found in a limestone cave of Kumamoto Prefecture, central Kyushu, southwest Japan. *Special Bulletin of the Japanese Society of Coleopterology*, (4): 323-327.

西川正明, 1997. シデムシ類とコガネムシ上科. 丹沢大山自然環境総合調査報告書, 丹沢山地動植物目録. pp. 206-214. 神奈川県, 横浜.

大川秀雄, 2003. チビシデムシ亜科. とちぎの昆虫: 栃木県自然環境基礎調査, II, pp. 84-85. 栃木県, 宇都宮.

(藤谷美文 701-1143 岡山市北区吉宗137)